



各学校における事業評価




<東学区>


学 校 名		事業名及び事業内容	自己評価 良好な点：○、課題が残る点：△	学校関係者評価 良好な点：○、課題が残る点：△
04	山形北	<p>[ライフプランを見通したキャリア教育の推進]</p> <p>1 宮城大学説明会(社会科学/農/看護系対象)</p> <p>2 山形大学工学部訪問(理工学系対象)</p> <p>3 東北公益文科大学連続講義・・・(社会科学系対象)</p> <p>4 看護医療系講話(看護医療系対象)</p>	<p>○興味、関心、知的好奇心が高まった。</p> <p>○適性がないという考えに至り進路変更した。</p> <p>△ねらいはあくまでも興味、関心の育成であり、今後自分で調べていくためのヒントを得る機会に過ぎないのだが、参加することで何か全てを与えて貰うつもりで参加する受け身の者がいた。</p>  <p style="text-align: center;">宮城大学説明会</p>	<p>○将来の進路を考える上で参考になっている。</p> <p>○視野を広げる契機になればと考える。</p> <p>△年間を通した事業として生徒にわかりやすく明示すべきである。</p>
06	山形中央	<p>[未来への扉]</p> <p>1 大学訪問（1学年体育科）</p> <p>2 大学オープンキャンパス参加（普通科2学年）</p> <p>3 予備校講師によるセンター試験対応学習法の講習（普通科2学年対象）</p>	<p>○事業1では仙台大を訪問し、実際に大学の講義を聴講することで、体育を学ぶことの意義を深く追求するきっかけとなった。</p> <p>○事業2では、東北大を通して自分の目で大学の様子を見ることで、進路意識を高めることに有効だった。</p> <p>○事業3では大学入試のための学習法を知る機会となり、実施後のアンケートでは、8割以上の生徒がとても良かったと回答している。</p>	<p>○実際に自分の目で見ることや体験することで、進路意識を高める取り組みとなっており評価できる。</p>  <p style="text-align: center;">センター試験対応講習</p>



学 校 名	事業名及び事業内容	自己評価 良好な点：○、課題が残る点：△	学校関係者評価 良好な点：○、課題が残る点：△
05 山形工業	<p>「山工元気プロジェクトⅡ」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 竹チップヤードを設計し施工した。 2 竹チップの発酵熱を継続的に計測した。その結果を基礎データとし、金沢工業大学 袴田佳宏先生と山形県産業技術短期大学校 加藤和憲先生より助言をいただいた。 3 数種類のキノコに対し電気刺激を与え栽培し、収穫したキノコを実食した。その結果、原木椎茸がこのプロジェクトに適している事が分かった。 4 キノコを使用した製品としてパン（ボンデケーキ）を試作し、文化祭で披露した。 5 3DCG と VR を活用して、VR ゴーグルをかけて本校舎エントランスから 5 階まで移動体験のできるシステムを作成した。 6 本校のオリジナルキャラクターを作成した。 7 福島県立小高産業技術高等学校へ赴き、元気プロジェクトⅡの説明を行った。また、小高産業高校とローソンが協同で開発し販売してる弁当についての意見交換を行い、当事業の参考となった。 	<p>○ 生徒自らが、それぞれの専門的な知識を活かし、興味を持って自らの課題解決に取り組んだ。</p> <p>○ 取り組んだ内容や結果、成果をまとめ、全校生徒の前で発表した。</p> <p>自らの活動には、自信をもって報告することができ質問に対しては適切に回答することができた。</p> <p>△ 校内において、毎月デジタルサイネージを活用し活動の経過報告を行った。また、1 月の全校課題研究発表会では、全校生徒と学校評議員、参加した保護者に対して、今年度の活動報告を行ったが、PTA や外部への情報発信が不足していると感じた。</p>	<p>○ 各科の生徒と職員、さらに生徒会の生徒が協力し、自らの考えを形にしようと懸命に努力している姿が印象的であった。</p> <p>○ 教育連携を行っている上級学校と密に意見交換を行っているため、高校生の学習内容以上の充実した活動内容となっていた。また、その体験・経験を自らの言葉で発表した姿に好感をもった。</p> <p>△ 活動内容を積極的に外部に情報発信することで、事業内容に賛同し、技術協力や資材支援をしたい企業や団体が現れるのではではないか。</p>



電気刺激によるキノコ栽培

学 校 名	事業名及び事業内容	自己評価 良好な点：○、課題が残る点：△	学校関係者評価 良好な点：○、課題が残る点：△
07 霞城学園	<p>[キャリア形成支援事業]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 キャリア形成のプロセスを学ぶ 2 夏期就職セミナー 3 オープンキャンパス訪問 4 企業見学 5 外部講師による模擬面接 6 高校生のためのコーチング講座 	<p>○卒業年次生に対して、先輩の体験談を聞かせることや、外部講師による模擬面接や就職セミナー等の実践的な指導より、進路実現そしてキャリア形成に効果があった。</p> <p>○1、2年次生についてはコーチング講座によりキャリア形成の意欲を喚起できた。1年次の就職希望者対象の企業見学で職業観を養うことができ、1、2年次の進学希望者には専門学校訪問を行い、進学の意欲が高まった。</p> <p>△早期の段階からキャリア形成を行うことができたが、全体に浸透させるためには継続した支援が必要であると実感した。</p>	<p>○企業や大学等の自分の目指すところを実際自分の目で見るという経験をする事は大変良いと思う。</p> <p>○先輩の話や企業・学校訪問は生徒の進路判断になっている印象。体感することが主体的な情報集めのきっかけになり得る。保護者のアンケートに外部講師の高評価がある。セカンドオピニオン的で保護者の安心につながるのだろうと思われる。</p>
08 上山明新館	<p>[ソーシャルデザインを取り入れた探究型学習～上山を中心とした地域活性のため～]</p> <p>地域との関わりを知る、また地域と関わる</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 『進路探究ワーク』や新聞の活用、地域の方の講演 2 パワーポイントによる発表会 3 上山散策 4 班ごとのポスター作り 5 ポスターセッション 	<p>○地域（上山）の良いところ、問題点を知ることができ、生徒自身でどのようなことができるか考えることができた。</p> <p>○班ごとに行った活動をポスター発表することで、学年生徒に活動内容を知らせることができた。</p> <p>△教員主体で進めたため、生徒が受け身だった部分が見受けられる。</p>	<p>○地域を知るということは良いこと。自分の学習、進路達成に繋がってほしい。</p> 
09 天童	<p>[地域と共に歩む天高生]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 プランターへの花の植栽と通学路等への設置 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の住民とともに花を育て、天童市内の美化に協力した。 2 天童駅駐輪場の清掃活動・冬期間通学路の除雪 <ul style="list-style-type: none"> ・通学路や天童駅周辺の安全確保と美化に協力した。 	<p>○植栽活動は1年次全員で行われた。地域には140個のプランターを設置し、天童市内の美化に協力できた。</p> <p>○天童駅駐輪場を中心に駅周辺でのごみ拾いを2回実施した。冬期間の通学路の除雪も実施し、地域の美化と安全に貢献することができた。</p>	<p>○市内・町内がきれいになる事で、これからも続けてほしい。</p> <p>○ごみ拾いは、いいことと思います。</p> 

学 校 名	事業名及び事業内容	自己評価 良好な点：○、課題が残る点：△	学校関係者評価 良好な点：○、課題が残る点：△
10 山辺	<p>[食と健康、暮らしを豊かにする人材育成～山辺町と共にあゆむ学校づくり～]</p> <p>1 食育活動 (1) 近江地区子ども料理教室で食育レクリエーション・料理教室 (2) 食育出前講座（大寺小学校）</p> <p>2 読み聞かせ活動 布遊具と布絵本作成、寄贈</p> <p>3 さまざまな地域連携活動 (1) ふれあいお茶のみサロン（3回） (2) 高齢者料理教室（4回） (3) 単身高齢者弁当提供 (4) かたりべの会に参加 (5) 山辺町の単身高齢者宅を訪問 (6) 各施設のお祭り等に参加 (7) 「やまがた健康フェア 2017」参加</p> <p>4 六次産業の推進 (1) 開発食品のPR活動 (2) 地元食材を使った食品開発研究 (3) 在来野菜の研究 (4) 庄内浜文化伝道師による食育講座</p> <p>5 食育活動や学習活動をまとめた食物科レシピ集の作成</p> <div data-bbox="607 976 936 1220" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">高齢者ハンドマッサージ</p>  </div>	<p>○乳幼児や小学生をはじめ、幅広い方々を対象とする食育活動をおし、わかりやすい食育教材の考案をはじめ、生徒が主体的に取り組み、高い達成感を得ることができた。</p> <p>○地域と連携した活動をすることで地域の活性化に貢献することができた。</p> <p>○健康寿命に対する関心が高まる中、地域と連携し健康体操の普及に加え、嚥下体操の普及についても積極的に取り組むことができた。</p> <p>○世代を超えた幅広い方々との触れ合いにより生徒の視野を広めるとともに、コミュニケーション力や自己有用感を高めることができた。</p> <p>○専門の職業人等による講習会を実施することでスペシャリストとしての意識が高まり、職業観を育む機会をつくることができた。</p> <p>○在来作物や地元食材への関心が高まり、それらを各種弁当調理や食品開発、料理コンクール等に活用しようとする意識の高揚が見られ、食文化の理解や郷土愛を育むことができる。</p> <p>○レシピ集を発行することで伝統野菜や地産地消についての理解が深まり、地元食材を広く紹介することができる。また、学習活動の振り返りができ、調理技術を向上させようとする意欲の高揚に繋がっている。</p> <p>○看護クラブとして生徒全員で一つのことに取り組み、布遊具を完成させ、活用することで、生徒たちの活動のモチベーションにつながった。</p> <p>○全学科で取り組んでいる事業について学科間の交流・連携を深められるように工夫して実施した。今後もさらに工夫しながら実施していくことが望ましい。</p> <p>○事業内容に対し全生徒、全職員が参加することで学校全体の取組みになった。</p> <p>△地域連携事業の推進が教育効果を高めている反面、教員の多忙化に繋がっている。</p>	<p>【学校関係者評価】</p> <p>○地域連携事業に関して、学科の特色を活かした教育の一環となっており、すばらしい取組である。今後も継続して欲しい。</p> <p>○教室以外での学習、将来に向けた資格取得等多くの学びができる学習環境になっており、次の世代をになう人材育成がなされている。</p> <p>△この取組とボランティア活動等は、町としてはたいへんありがたい。さらに工夫もできないかと求めてしまうが、生徒と教員の過度の負担になっていかが心配である。</p>

学 校 名	事業名及び事業内容	自己評価 良好な点：○、課題が残る点：△	学校関係者評価 良好な点：○、課題が残る点：△
12 寒河江工業	<p>[目指せ、輝くエンジニア]</p> <p>1 産業構造学習（製造関係施設の見学と技術者による講話）（各学科で実施） (1) 地元にとどのような企業があり、どのような技術を求めているのかを学習させる。 (2) 学校で学んでいる工業に関する分野と地元企業が扱っている技術との関連性について学び、学習意欲を喚起させる。</p> <p>2 スキルアップ講演会（学習意欲の喚起・就業意識の高揚）（全生徒対象）</p>	<p>○スキルアップ講演会では、若い時にチャレンジすることの大切さを理解し、スペシャリストを目指す意欲が向上した。</p> <p>○産業構造学習では、地域企業の理解が深まり、企業の求めるエンジニアについての認識が深まり、学習意欲も向上した。</p> <p>△見学先企業についての事前学習でくわしく調べさせる必要がある。</p>	<p>○これが一番大切なこと。生徒育成に向けてしっかり取り組んでいる。</p> <p>△県外や海外で活躍することも大切。地元志向だけに偏らなくてもよい。</p> 
13 谷地	<p>[谷地高力向上推進事業]</p> <p>講師・ゲストにオリンピック選手等を招き、トレーニング方法やメンタル面など幅広い体験談を聞く。また、オリンピック・パラリンピックが東京で開催される意義についても学ぶ。</p>	<p>○オリンピック選手から、「挑戦する心・あきらめないこと」等について講演をいただいた。生徒は、楽しく聞いており、モチベーションだけでなく、日頃の学校生活にも役立つ内容であった。</p> <p>△日程を2学期の始まりに設定し、講演を聞いた後の学校生活に活かせるようにすべきであった。</p>	<p>○講演については、今後の高校生活が充実したものになるような内容であり、とてもいい機会であった。</p> <p>○本校でも、東京オリンピック出場に向けて励んでいる卒業生がいるため、東京オリンピックに向けての機運の醸成が図られた。</p> <p>△保護者や同窓生等にも案内を出すべきであった。</p>
14 左沢	<p>[みんなで「学び」、みんなで「働き」、みんなで「生きる」]</p> <p>1 被災地ボランティアとしての花植え活動（農業体験での成果を社会還元、花の育苗・花植え）</p> <p>2 コミュニケーションのスキルアップ活動（大学教授等による講演会、その後の学習成果発表会）</p>	<p>○宮城県山元町での植栽活動を通じて、被災地地域住民の皆さんに潤いと安らぎを感じていただき、生徒自身の郷土に対する愛着心の醸成、自然や公共施設を大切に作る心を高めることができた。</p> <p>○グループワークを主題とした授業展開で、生徒同士のコミュニケーション能力の向上と、学習内容の定着がはかられた。</p> 	<p>○生徒一人ひとりに目を配り、きめ細やかな指導が感じ取れます。</p> <p>○ことばや文字の伝達が下手な子が少なくないので、コミュニケーション力やプレゼンテーション能力をつけていただくことは、大変素晴らしいことである。</p> <p>△ボランティアについては、もっと地域活動への参画といった面で検討できないだろうか。</p>